

三議第115号
令和4年1月11日

三島市長 豊岡 武士 様

三島市議会議長 川原 章 寛

議会報告会における市民からの要望について

三島市議会では、去る令和3年11月9日から12月12日にかけて、初の試みとして動画配信方式による議会報告会を開催するほか、11月5日及び8日には市内団体との意見交換会形式での議会報告会を開催し、市民から多くの意見をいただきました。

つきましては、三島市議会議会報告会実施要綱第11条第3項の規定に基づき、行政に対する要望、提言のうち重要なものとして、下記の3件について対応を求めますので、回答をお願いします。

なお、本件についての回答は議会ホームページに掲載する予定です。

記

- 1 令和2年度で男性の育児休業補助金制度が終了となったが、改めてより規模の小さい事業所に向けた育児休業取得促進の支援制度を創設するとともに、先進的な取り組み事例を発信すること。また、三島市の男性職員育児休業取得率20%の目標達成に向けて、市長からの明確なメッセージの下、具体的な施策を展開するとともに、女性職員の働きやすさ向上のためのスキルアップ支援などの環境整備を進めていくこと。
- 2 社会からの孤立や孤独死につながる独居高齢者のセルフネグレクト問題が浮上しており、予防の視点に立った総合的な支援が急務である。よって、65歳前からの支援開始も含めて、セルフネグレクトに関する調査を行い、地域包括支援センターへの情報提供・協力連携をもって一人一人に寄り添った支援体制を構築すること。
- 3 令和6年度以降の下水道料金改定について、段階的・連動的な改定を検討し、経営戦略に示した上で、市民生活に与える影響を考慮して丁寧な説明・周知を行うこと。また、下水道の広域化に向けた可能性調査における比較検討の際には、長伏浄化センターをポンプ場に切り替えた場合に、跡地利活用の可能性が生じる点を踏まえて議論すること。